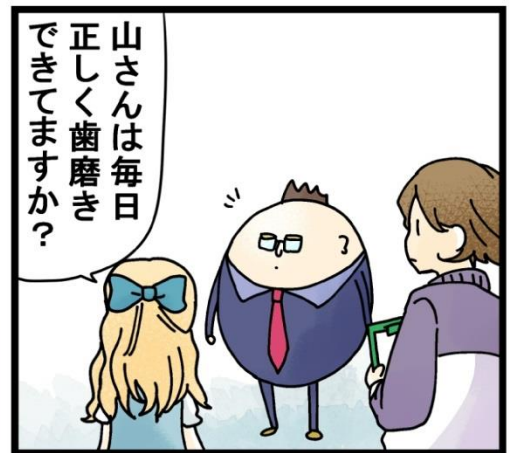
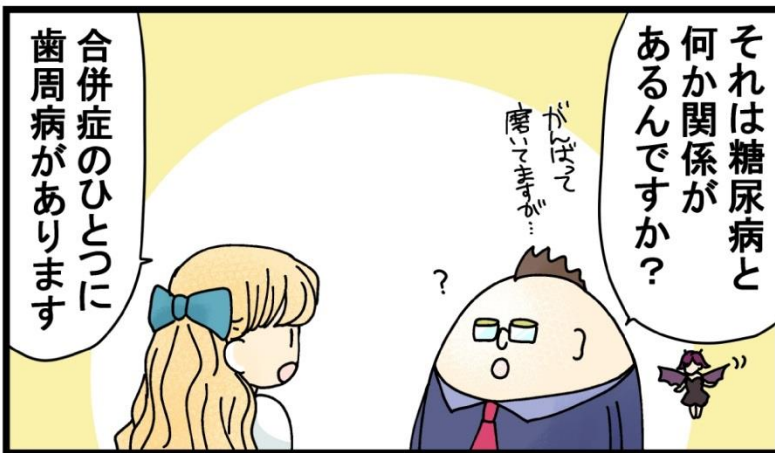


『サトウさんとお付き合い始めました。』

第16話 ～ 芸能人は歯が命！ ～

しばうら はるみ
画：芝浦 晴海



糖尿病と歯周病はお互いに影響し合っているんですよ

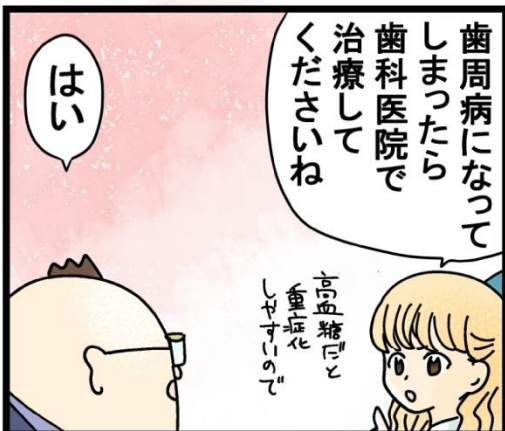
血糖値が高いと歯周病原菌にも感染しやすくなる

歯周病

糖尿病

歯周病を治療すると血糖コントロールが良くなったという報告もあります

歯周病などの感染症にかかるとインスリンの効が悪くなる → 血糖コントロールが悪くなりやすくなる

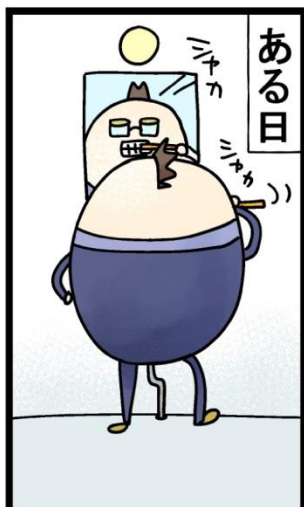


山さんも次のことを実践しましょう

歯周病にならないために

- ・正しい歯磨き (医師や歯科衛生士に教わる)
- ・歯科医院の定期チェック (目安は半年に1回程度)

より良い血糖コントロールを維持することも大切です!



問1. 血糖値が高いと“〇〇症”にかかりやすくなる
歯周病は歯周病原菌による“〇〇症”である

ヒント
同じ言葉が
入るよ！

7
月
1
日
(月)

問2. 歯周病になると、〇〇〇〇が効きにくくなる



〇〇コントロールが不良になる

歯周病が“〇〇化”しやすくなる

悪循環

日直
AY
さん

さあ、答え合わせをしてみましょう！（答えは赤字です。）

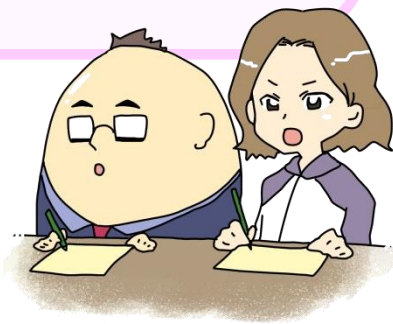
歯周病は糖尿病の合併症のひとつです。血糖値が高いと**感染症**にかかりやすくなるため、歯周病原菌にも感染しやすくなります。

歯周病になると、歯肉の炎症が**インスリン**の効きを悪くし、**血糖コントロールが不良**になります。すると、高血糖や血流の低下により感染を防ぐ機能が弱くなり、歯周病が治りにくく、**重症化**しやすくなります。そして、インスリンの効きがさらに悪くなる悪循環にはまります。

また、歯周病の治療によって歯肉の炎症が改善すると、インスリンの効きが良くなり、HbA1cが0.4%程度低下したという報告もあります。

日頃から食事・運動療法（+薬物療法）で良好な血糖コントロール状態を維持しておくことはもちろんですが、歯周病にならないためには、「正しい歯磨き」と「歯科医院での定期チェック」も実践しましょう★

それでも歯周病になってしまった時は、歯科医院でしっかり治療してくださいね。



歯周病ってどんな病気？



歯周病は、歯と歯ぐきのすき間から侵入した細菌が、歯肉に炎症を引き起こし、さらには歯を支えている骨を溶かしてしまう病気です。適切なケアをせずに放置すると、最終的には歯が抜けてしまいます。